

作■鈴木泉三郎 Suzuki Senzaburo

1893年5月10日、東京市赤坂区の青山地区に生まれる。作家の水野葉舟に入門し、1913年、20歳のときに三越呉服店の募集した懸賞脚本に入選、松居松葉に認められ、松居の推薦で岡村柿紅に入門する。1916年、23歳のころ、化粧品メーカー伊東胡蝶園が経営する出版社「玄文社」に入社、岡村が主筆をつとめる雑誌『新演芸』の編集に携わる。その傍ら、戯曲『八幡屋の娘』、『ラシャメンの父』、『美しき白痴の死』等を発表した。1924年10月6日、病氣療養中の仮住まいであった神奈川県中郡大磯町小千畳口で死去した。満31歳没。逝去に先立つ同年8月、『演劇新潮』（文藝春秋社）に発表した『生きてゐる小平次』が絶筆となったが、これが代表作とされ、近代戯曲史上の名作とされる。

演出■

増田雄 Masuda Yu (モンゴルズシアターカンパニー)



1987年生。三重県出身。多摩美術大学映像演劇学科卒業後、一年間イギリスへ留学。2015年、株式会社パソナグループで出会った社員とモンゴルズシアターカンパニーを立ち上げ、これまでの演劇にはなかった作品受注型の創作メソッドを確立。精神科医や剣術師範、オーケストラ、バンドマン、カウンセラー、建築家、画家、料理人、大学教授、ダンサーなど、異業種とのコラボレーションを得意とする活動は様々な場所で大きな反響を生み、2017年は年間で40本以上の企画を手掛けている。代表作に『ドヴォルザークの新世界』（主演なだぎ武・山田菜々）、『鼠』（劇王天下統一大会2015関西代表作）、発達障害啓発芝居『私』（企業研修向け）など。2017年に同セミナーで鈴木泉三郎「火あぶり」谷底を上演。

出演者■

野倉良太(東京ガール)、藤田和広
福良千尋、南澤あつ子(劇団E.N.)

■講師／シンポジウム・パネラー

正木 喜勝 Masaki Yoshikatsu (演劇研究者)

1978年京都生まれ。博士(文学)。大阪大学文学部演劇学専攻卒。宝塚高校演劇科などで演劇研究・教育に従事した後、現在は学芸員として演劇史料の調査および研究にあたる。専門は演劇学、近代日本演劇史。共著に『劇的尖端 村山知義』『交差する歌舞伎と新劇』など。論文『豊中グラウンドの誕生とその意義』『宝塚少女歌劇上演目録補遺』など。大正期関西文化の歴史研究にも取り組む。現在、『京都芸術センター通信』に劇評を連載中。

■シンポジウム司会進行(両日とも)

佐々木治己 Sasaki Katsumi (劇作家・演出家)

1977年北海道生まれ。劇作家。2001年に劇団「60億人のための演劇」自動焦点」旗揚げ、13作品を上演する傍ら、他劇団へのテキスト提供、土方巽記念アスベスト館にて舞踏作品の演出を行う。2006年の劇団解散後は、劇作家・ドラマツルグとして劇団解体社やSPACの公演に参加。2015年、作品集『お前は俺を殺した』(共和国)刊行。Sort/Hvid劇場(コペンハーゲン)等で紹介される。

料金

500円 ※高校生、協会員無料

お申込み・お問い合わせ

日本演出者協会 関西ブロック事務局

✉ kansaiblock@yahoo.co.jp

☎ 080-4024-2022 (関西ブロック事務局)

※電話は大変つながりにくくなっておりますので、
ご利用はなるべくメールでお願いいたします。

■スタッフ／舞台監督 田中孝弥／音響 穴見郎／照明 染川 亮成
劇場統括 森本景文(劇団未来代表)
■Special Thanks／藤岡英幸(劇団未来) & 劇団未来劇団員の方々。
■主催／文化庁・一般社団法人日本演出者協会
企画制作／一般社団法人日本演出者協会 関西ブロック



日本の近代戯曲を読む！

文化庁委託事業「平成29年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

日本の近代戯曲研修セミナー in 大阪2017

作■武者小路実篤 Musyanokouji Saneatsu

1885年(明治18年)5月12日～1976年(昭和51年)4月9日 日本の小説家・詩人・劇作家・画家。貴族院勅選議員。東京市麹町区元園町1-38(現：東京都千代田区一番町19-4)に生まれる。父・子爵武者小路実世(さねよ)、母・秋子(なるこ)(勘解由小路(かでのこうじ)家出身)の8番目の末子。実篤は明治41(1908)年『荒野』を出版して以来、小説のほか戯曲・詩・随筆など6300篇を上まわる作品を精力的に執筆。明治43(1910)年に友人・志賀直哉らと雑誌『白樺』を創刊し、以後、60年余にわたって文学活動が続ける。代表作は、小説『おめでたき人』『友情』『愛と死』『真理先生』、戯曲『その妹』『ある青年の夢』。また多くの人生論を著し、一貫して人生の讃美、人間愛を語り続けた。大正7(1918)年には『新しき村』を創設し、理想社会の実現に向けて、実践活動にも取り組んだ。美術にも関心が深く、多く評論を著す。自らも40歳頃から鉛筆をとり「生命が内に充実するものは美なり」と、人々に親しまれている独特の画風で描いた。その生涯は、文学はもとより、美術、演劇、思想と幅広い分野で活動し、語り尽くせぬ業績を残す。近代日本を代表する作家の一人。文化勲章受章。名誉都民。日本芸術院会員。贈三位(没時叙位)。

演出■

福谷圭祐 Fukutani Keisuke (匿名劇壇)

1990年7月28日生まれ。大阪府出身。2009年4月に近畿大学文芸学部芸術学科に入学。舞台芸術を専攻し、演劇を学び始める。2011年、匿名劇壇を結成。以後、匿名劇壇の全ての作品の作・演出を担当する。自劇団以外での活動も行っており、劇団Patch『森ノ宮演出家殺人事件』(作・演出)や、futurismo『珈琲が冷めるまでの戦争』(作・演出)などがある。俳優としての評価も高く、iaku『エダニク』、突撃金魚『僕のヘビ母さん』など出演作多数。メディアへの脚本の提供も。KissFM『STORY FOR TWO』、「環状線ひと駅ごとの恋物語-Part2」<station1鶴橋「優しい追跡者」(KTV)。InterFM「木下の介護・40秒スポットラジオCM」(脚本)など。



出演者■

佐々木誠、杉原公輔、松原由希子(以上、匿名劇壇)他。

■講師／シンポジウム・パネラー

神澤和明 Kamizawa Kazuaki (演出家・演劇評論家)

1953年生。大阪府出身。演出家、演劇評論家、狂言バフォーマー。英語教師として勤務する傍ら、奈良県で演劇祭プロデューサー、演出家として活動。これまでに、近畿大学、大阪芸大、複数の劇団養成所で発声法と台詞術の授業を行ってきている。劇評新聞「劇場通い」発行、「テアトロ」「悲劇喜劇」誌に執筆、演劇賞の審査員を務めるなど、劇評活動も積極的に展開している。専門分野はシェイクスピア劇、音楽劇。日本演出者協会会員。

■シンポジウム・パネラー

寺澤浩樹 Teranishi Hiroki (文教大学 文学部 日本語日本文学科 教授)

1960年群馬県生。東北大学大学院終了。武者小路実篤の文芸作品と活動を対象として、日本文芸学の方法論により、その意義を研究。著書『武者小路実篤の研究—美と宗教の様式』等。

研修(稽古)期間を公開しております。

※ご希望の方は、各作品のお問い合わせ先にお申し込み下さい

増田組 鈴木泉三郎作品

☎ 050-3699-3171

✉ mongolstc@gmail.com

福谷組 武者小路実篤作品

✉ kansaiblock@yahoo.co.jp

一般社団法人
日本演出者協会

JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F

TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075

E-mail: j_da_info@yahoo.co.jp WEB: http://www.jdaj.jp/

【一般社団法人 日本演出者協会】和田喜夫・秋葉舞子・佐々木治己・川口典成
【関西ブロック代表】木嶋茂雄【関西ブロック役員】秋山太加・井之上淳・岩崎正裕・金子順子・神澤和明・菊川(徳之助(理事))・キタモトマサヤ・島守辰明・高橋恵・田中孝弥(理事)・柳瀬美幸・堀江ひろゆき・松本修・森本景文・山本つづみ・わかざあふ。